

平成25年度予算の概要

各会計予算

	金額	対前年度増減比
一般会計	1,717億円	1.5%
国民健康保険事業特別会計	533億4,500万円	△1.4%
後期高齢者医療事業特別会計	83億9,100万円	3.1%
介護保険事業特別会計	299億8,600万円	4.7%
用地特別会計	54億5,880万円	△40.8%
駐車場事業特別会計	7億2,470万円	8.4%
合計	2,696億550万円	△0.1%

区民一人当たりの予算額（一般会計）

高齢社会、健康づくり等、福祉と衛生に	149,402円
生涯学習の支援や小中学校の運営などに	33,008円
災害対策や地域活動、文化振興などに	38,429円
道路・公園整備やまちづくりに	33,435円
清掃事業や環境対策に	11,549円
中小企業に対する融資など産業経済に	7,892円
常勤職員の給料等に	59,530円
特別区債の償還などに	9,056円
国民健康保険・介護保険事業などの繰り出しに	39,544円
合計	381,845円

人口は447,170人（平成25年1月1日現在）から算出し、合計には、予備費等が含まれていません。

2月19日の本会議において、平成25年度各会計予算案6件を審査するために、37名の議員で構成する予算審査特別委員会が設置されました。

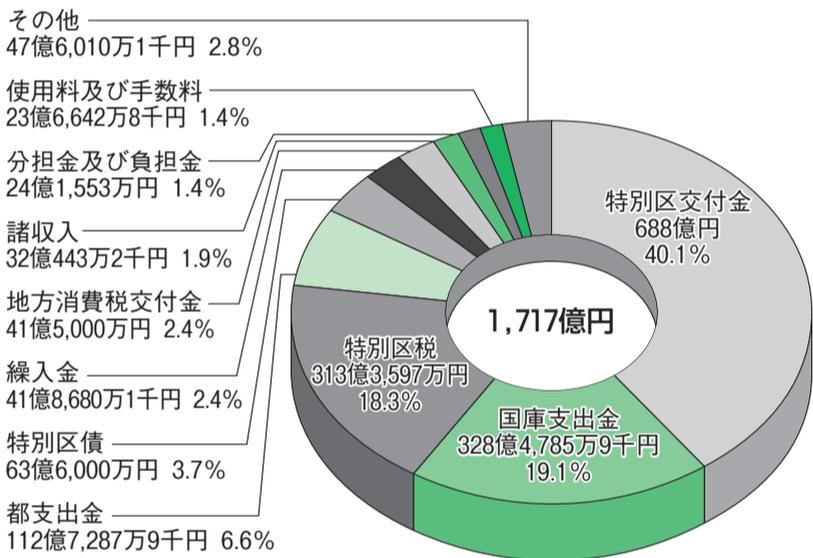
予算案は、3月1日の予算審査特別委員会においての総括質疑の後、4分科会で詳細に審査され、11日の予算審査特別委員会において、各分科会長から審査経過の報告を受けた後、各会計予算の採決を行い、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定、3月27日の本会議において可決されました。

予算審査特別委員会

平成25年度予算を審査

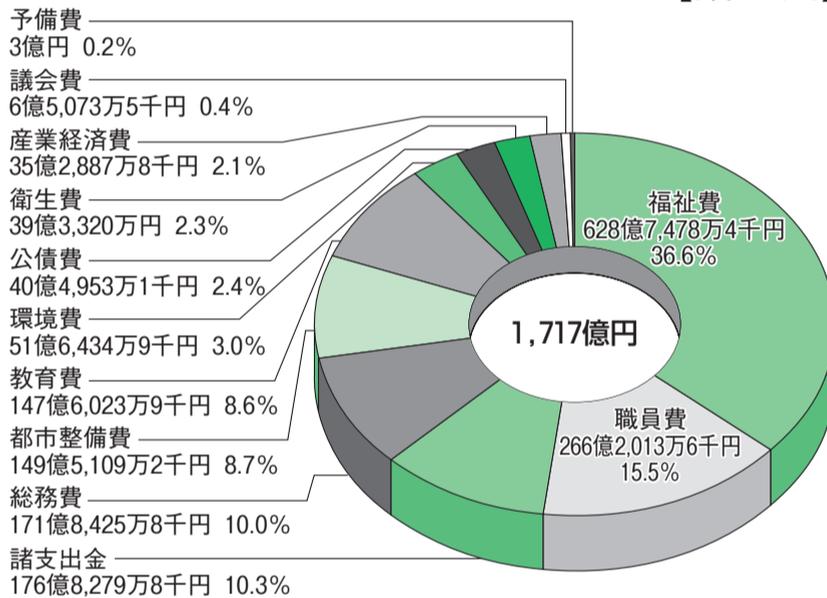
一般会計

【歳入】



※その他は繰越金など。

【歳出】



※四捨五入しているため、構成比の合計は100%になりません。

平成25年度予算に対する各会派の意見

この面から7面までに、平成25年度予算に対する各会派の意見を掲載しました。

葛飾区議会公明党

誇りあるふるさと葛飾の実現へ
基本計画の着実な執行を

平成25年度から10年間にわたる新基本計画を策定し、「夢と誇りあるふるさと葛飾」の実現に向け取り組んでいることは大いに評価します。新基本計画の初年度となる平成25年度予算編成は、歳入面では特別区税の増、財調交付金の大幅な増が見込まれ、一般会計予算額1,717億円、前年度比1.5%の伸び率で、5つの特別会計を合わせて、総予算額2,696億550万円で編成されました。歳出面では、防災・減災の観点から道路の空洞化調査の予算化や、多子世帯への経済負担を軽減する第3子の給食費無料化など、わが会派の主張が予算措置されたことなど、区民ニーズに合った着実な予算編成となっており評価します。以下、予算の各款項ごとに、我が会派の意見提案を述べます。

総務費 草の根の平和外交を進めることとなる大韓民国などの友好都市提携への推進を求めます。プロポーザルを含めた入札制度の見直し、来庁した区民に分かりやすい接遇の取り組み、災害時の不測の事態を想定した情報通信の複線化を求めます。ワークライフバランス応援事業は時宜に合ったものであり評価します。災害時に活用効果の高いヘリサインを公共施設に整備することを要望します。都や他区の動向を参照にした保養施設提供事業の見直しを求めます。「身近なクラシック」コンサート回数拡充と広報活動の充実を求めます。

産業経済費 葛飾区認定製品販売会、中小企業勤労福利共済事業の更なる拡充、フィルムコミッション事業の中で撮影スポットを集めた「葛飾百景」などの施策を要望します。フードフェスタ事業では幅広い年代層が楽しめる工夫を求めます。

福祉費 災害時要援護・障害者の安心カードは、日常生活の中で活用しやすいものとなるように望みます。また、

医療的ケアの必要な人を受け入れる老人保健施設の実施検討を望みます。認可保育園の着実な開設による待機児童の減少を評価します。夜間保育の継続的な運営、家庭福祉員（保育ママ）拡充への取り組みを要望します。成年後見制度推進事業では、平成26年度の「成年後見センター」の設置にむけ、総合センター職員のリベルアップと、区民向けの入門講座の受講促進を望みます。先進的介護予防事業のうんどう教室事業とプラチナ・フィットネス事業について評価します。

衛生費 保健センターなど区民サービスの向上を考えて、施設のあり方についての検討を望みます。

環境費 緑と花のまちづくり事業経費については、地域の人材の育成や活動の支援を要望します。粗大ごみ受付業務では、電話回線増設など利便性の向上を評価します。エコプラザでのリサイクル家具販売事業のさらなる拡充を望みます。緑化推進事業経費については、推進と保全の観点から予算措置と制度設計をすべく求めます。

都市整備費 金町駅、新小岩駅、立石駅、高砂駅など駅周辺の街づくりでは、地域の声を大切にしながら、着実な取り組みを求めます。荒川土手などを活用した葛飾の魅力ある創出を求めます。

教育費 教職員の精神的ケアの拡充を要望します。旧学校施設については、地域の要望により、一部活用されていますが、今後は地域の持つ特性や隣接のエリアまで広げた公共施設の計画となるよう体制強化を要望します。スクールカウンセラー派遣事業費については、いじめや不慮の事故などの発見が迅速に行われるよう要望します。小学校費では、通学路の緊急合同点検によって指摘された危険個所の早期解消を求めます。ICT活用授業推進費では、教員1人に1台のコンピュータの設置、各教室へのICT環境の整備を進めるとともに、ICTサポート員の増加を望みます。

各特別会計についてはこれを了とし、事業の適切な執行を望みます。